

あれから2年

大太鼓は再び

2024年7月、郷土芸能部の象徴である大太鼓は、傷みの激しくなった革を張り替える「令和の大修理」を断行し、その1か月後に岐阜県で開催された全国大会で、生まれ変わった大太鼓の音を響かせることができました。



石川県の浅野太鼓に修理を依頼



1か月後、生まれ変わって帰還

そして2026年7月、当時のことを知らない現在の部員たちが、2年ぶりに革の締め直しに挑戦しました。縛り方が分からなくなるといけないので、写真を撮りながら縄をほどき、今度はバランスを取りながら革を締め上げていき、無事に元の姿に組み上げることができました。汗びっしょりの2時間余りの作業でしたが、大太鼓への理解と愛着がグッと増しました。



あれから2年、大太鼓は再び、張りのあるすばらしい音を奏でるようになりました。

そして、あれから2年、大太鼓は再び、

全国に旅立ちます！

今回の舞台は秋田県です。全国から集まった同志たちに、手作り大太鼓のすばらしい音を届けて来たいと思います。

しかしその前に、大太鼓の演奏を披露する場があります。それは、3年生の最後の演奏会である、

郷土芸能部定期演奏会

7月25日(土)、内子町共生館

13時開場、13時30分開演

です。感謝の気持ちを込めて、日頃の練習の成果を披露したいと思います。ぜひ、見に来てください。お待ちしております。